

52 ムツハアリアケガニ

(ムツハアリアケガニ科)

兵庫県ランク:A

Camptandrium sexdentatum

環境省ランク:指定なし

種の概要

宮城県から長崎県に分布する。甲幅15mm。潮間帯下部の軟泥質の干潟に生息する。体色は褐色で、生時は泥をかぶっている。脚は比較的長く、軟毛を備える。泥干潟や河口の滞筋などを歩いている。甲の側縁前方に明瞭な3対の歯があることが特徴で、これにより、形態の似たアリアケモドキ(その他無脊椎動物Aランク)(歯はない)と識別できる。同様に形態の似たチゴイワガニは歩脚長節先端に棘があることで本種と識別できる。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○		○	○

県内分布

たつの市、赤穂市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。たつの市、赤穂市でのみ記録がある。県内における本種の分布は極めて限定的である。たつの市での記録が瀬戸内海海域での分布東限となる。

保護上の留意点

有明海以外の海域では個体群の孤立が指摘されており、近隣県の記録としては岡山県児島湾、愛媛県松山市、和歌山県田辺湾でわずかに採集されるにすぎない。県内の生息域は本種の国内分布記録としても非常に重要であり、この場所から消滅した場合、他地域からの再加入がのぞめないおそれが高い。本種の好む細泥質の干潟や河口域は県内では少なく、数少ないそれらの干潟を保全する必要がある。



写真提供：西宮市貝類館



写真提供：西宮市貝類館

【執筆者】 渡部哲也